

基本方針

- 生活交通のための移動手段を維持・確保するための**新たな交通ネットワークシステムの再生**
- 地域の実情にあった**効率的・効果的な交通体系の構築**
- 行政、地域住民、公共交通事業者等の**関係者が一体となった取組**

目標

- 公共交通事業者等に現行バス路線の継続運行等に対する財政的な支援をすることにより、**地域住民の生活交通に必要となる最低限度の移動手段を維持・確保**
- それぞれの地域の実情にあった交通体系（デマンド型交通、福祉バス・スクールバス・タクシー等の活用等）を検討、**新たな交通システムを再構築**

具体的な事業例

バスの運行等

生活路線バスの運行
（奥宇陀線「上内牧系統」、室生線）

廃止路線代替バスの運行
（ほっとバス錦、らくらくバス）

市営有償バスの運行

福祉移送サービス事業

新交通システムの導入・活用
〔デマンド型バスの検討・導入
〔スクールバス、診療所送迎バス等の活用等〕〕

利用促進活動等

時刻表、路線図、ポスター等の作成・配布

公共交通の普及促進活動等に関する講演会の開催

バス停留所等の整備

低廉なバス運賃
割引乗車券等各種企画乗車券の発売

バリアフリー化、乗継円滑化

将来的には、まちづくりや観光振興等との連携を図りつつ、
地域公共交通の活性化・再生に向け、計画の見直しを実施